

育成モノづくり人材

Vol. 54

奈良県立王寺工業高校

奈良県立王寺工業高校は、奈良県で唯一の「工業」が名称に残っている高校だ。2000年代から奈良県で進んできた統廃合の波に



加藤校長

も飲まれず、単独で生き残ってきた。その強さの源泉の一つが、生徒の礼儀正しさと勤勉さにある。16年度は、17年連続就職率100%を達成。卒業生の多く、

【DATA】▷校長=加藤秀夫氏▷所在地=奈良県王寺町▷学科構成=機械工学科、電気工学科、情報電子工学科▷総定員=650人▷主要設備=CNC旋盤、フライス盤、放電加工機、電気炉、CADシステム、各種計測器など▷主な進路=トヨタ自動車、ホンダ、マツダ、ダイハツ、大阪教育大、大阪工業大など

ようになつた。あいさつのほかに校内の清掃に力を入れている。溶接や機械加工などの実習で機械を使っただけには治具

残った「工業」 礼節と勤勉

くをトヨタ自動車などにお金をかけたのだから、自分たちもこれを機に変わらなければ

同校は62年(昭37)に開校。90年代までは奈良県内でも特に課題の多い学校だったとい

この運動がいつしか全校へと広まり、あいつや整理整頓、学業を重視する校風にシフト。最近では、生徒が校内で学校への訪問客

課外活動では、資格試験の勉強に力を入れ



2月7日に開いた校内課題研究発表会

門3位、08年には「高効率風車の研究」によりエネルギー部門2位に輝いている。

的に勉強する。多くの生徒の進路が就職とな

(金曜日に掲載)